短期集中連載

高齢者施設での看取りを実現するために

小澤 竹俊
一般社団法人
エンドオブライフ・ケア協会理事

救命救急センター、農村医療に従事した後、94年より横浜甦生病院内科・ホスピス勤務、1996年にはホスピス病棟長となる。2006年めぐみ在宅クリニックを開院、院長として現在に至る。「自分がホスピスで学んだことを伝えたい」との思いから、2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始し、多死時代にむけた人材育成に取り組み、2015年、有志とともに一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会を設立し、理事に就任。

第2回 施設での看取りを実践するために必要なこと②

命終えるプロセス、知って

今回は、看取りに初めて関わるスタッフから、どのように人は最期を迎えるのか?と問われたときの対策を紹介します。ここでは専門用語ではなく、わかりやすい言葉で次のように伝えます。

「人が命の終焉に向かうとき、共通するプロセスは、生まれた赤ん坊の成長の逆である」と。つまりお迎えが近くなると、眠る時間が増え、徐々に食事量が少なくなり、あるときから離乳食になり、あるときから水分中心となる。そして、食事量に合わせて歩くことができる距離が短くなっていく、ということです。

身体の声に傾聴 時機に合うケア

これは、身体の声が自然に表れている状態です。様々な理由から、治療が困難な病状となった高齢者が施設で看取り対応となったとき、細かな検査結果や画像診断の結果を共有することは大切です。しかし、現場で一番に大切にしたいことは、その人の身体がどのような状態であるか（起きていたいのか、休みたいのか）です。その人の身体の状態に合った生活リズムに気を配る必要があります。医療にあってもその人にとってちょうど良い起床時間や栄養に配慮することは、穏やかな最期を迎えるための基本です。自身が適切なケアをできているか確認するにはその人の表情を見ればわかります。本人の表情が穏やかであれば、最高のケアを提供できていると考えます。たとえ徐々に眠る時間が増え、歩けなくなり、食事量が少なくなっていったとしても、その人の身体の声に合ったちょうど良い配慮があれば、きっと穏やかな最期を援助することは、それほど難しくありません。初めて看取りに関わるスタッフに、このようにご紹介ください。

「治す」から「支える」へ

「タスクシフト」でチームケア

医療法人アスムス
太田秀樹理事長

地域包括ケアの推進に在宅医療の役割が増している。医療法人アスムス（栃木県小山市）の理事長であり、日本在宅ケアアライアンス（東京都千代田区）事務局長を務める太田秀樹理事長によると、高齢社会において医療のあり方が大きく変化したという。

医療形態の変化 患者の生活考慮

2025年問題に対応するためには、医療と介護が連携して一体となりサービスを提供する必要があり、その一端を担うのが在宅医療だと太田秀樹理事長は訴える。

「今までの医療の役割は病気を治すことでしたが、パラダイムは変わりました。高齢者のフレイル予防や一人暮らしの問題などにも対応して、いかに患者が幸せに暮らせるかを考え、最期まで支えることが必要になってきました」（太田理事長）

▲患者を最期まで支える必要がある

医療形態の変化に対応し、高齢者が住みやすい環境にするため、住まい方も重要だという。「85歳でも治療はできるが、患者の半分は認知症になる可能性が高い。認知症の人たちには、病院でなく、地域で生活モデルを構築する必要がある」と太田理事長は話す。

地域包括ケア 地産地消が理想

地域包括ケアを実現するために、地域特性を理解しながら街づくりと在宅医療を進めていく必要も指摘。「地域包括ケアは〝地産地消〟が理想であり、地域で自給自足することが求められる」という。

また、介護人材不足対策にはタスクシフトを提唱。「今まで医師が手掛けていたことを看護師が行い、看護師が行っていたことを介護士が行っていくような考え方が重要です」と主張。さらに互助の考え方を踏まえ、隣人らとお互いを支え合う社会にするべきだという。

医療と介護は限られた人材でカバーしていく必要があるため、在宅医療では看護師の役割がポイントとなる。今後は遠隔診療を用いた連携や看護師が看取りをできるようなタスクシフトも必要と考えられる。

医療

新ガイドライン対応

医療広告の規制強化

ストロボ
下山哲平社長

デジタルマーケティング事業を展開するストロボ（東京都港区）は2017年度の医療法改正に伴い、18年度6月の新しい医療広告ガイドライン施行に備えて、医療機関などに「医療広告ガイドライン適合診断・校正・改善コンサルティングサービス」を開始。新ガイドラインに適応するための改善指南から実行までに対応する。

医療広告ガイドラインとは、医業もしくは歯科医業、病院もしくは診療所に関して広告し得る事項などや広告適正化のための指導などに関する指針。

今年度の施行により、医療機関のホームページも広告とみなされるため、ホームページ上でも虚偽・誇大広告は禁止され、ガイドラインの基準に適合した表現にしなければならない。その背景にはインターネットを使った情報発信や集客が一般的になり、増加した医療機関のホームページ情報が原因の消費者トラブルなどがある。

下山哲平社長は「ガイドライン施行の影響を受けると思われる医療機関Webサイトの80%以上に、何かしらの形でガイドラインに抵触する内容が存在すると考えています。とりわけ、自由診療を取り扱う医療機関及びそれらを紹介するメディアにとっては、喫緊の課題となっている状況です」と話す。

同社では18年1月に開始した、美容・ヘルスケア領域に関わる企業やメディア運営会社に向けた「美容・医療領域コンテンツ特化型コンプライアンス監査&校閲サービス」などを通じて、大手企業を中心に、ヘルスケア領域に関するコンプライアンス対応及び編集・校正・校閲サービスの経験を活かして、新ガイドラインへの適合対応に特化した支援サービスを行う。

「弊社の独自の医療領域専門人材による、ガイドラインに準じた形での校正・校閲体制の提供をしていきたいと考えています」（下山社長）

現在1ヵ月に1000～4000ページの記事の校正・校閲を行っている。

◀自由診療の医療機関は対応が必要

対応が特に必要となる医療機関
- 歯科
- 美容外科
- 美容皮膚科
- その他、がん治療やリハビリテーション関連など自由診療メニューを取り扱っているクリニック

上海・南京の福祉医療 最新事情&現場視察ツアー

～「介護・医療・人材」の最新動向をもれなく把握～

2018 6.14㊍-18㊊

お一人様26.8万円（別途諸費用）

主な視察スケジュール&内容 4泊5日 上海・南京

◆上海ホームドクターの取組み◆介護ビジネスに参入した南京の有力デベロッパー◆南京の介護施設、地域密着デイ、介護専門職業学校◆上海市内の超高級CCRC◆上海新設の官民共同介護人材育成教育機関etc.

中国で高齢者人口率が一番高い上海市と近年高齢者事業が活発で福祉政策に積極的に取り組んでいる江蘇省の南京市を視察します。中国最大級の国際福祉機器展「China Aid」を見学するほか、上海市で活動するホームドクターの取組みを視察します。また日本での介護技能実習生制度施行を踏まえ、介護医療人材の教育機関を訪問します。そのほか、在宅介護事業者や最新の施設を視察。さらに介護業界へ参入を果たしたデベロッパーも訪問します。また、上海から南京へ移動の際、話題の中国新幹線を体験していただきます。

■旅行期間：2018年6月14日（木）～18日（月）4泊5日■旅行代金：大人お一人様268,000円（各国の空港税類及び燃油サーチャージ・渡航手続手数料等を含む）■利用航空会社：中国国際航空〈CA〉エコノミークラス■利用ホテル：4ッ星クラス・シングル利用〈Merry hotel（上海）／Jinling Hote（南京）同等クラス予定〉■食事：朝食4回、昼食0回、夕食1回■募集人員：25名様（最少催行人員20名様）※但し、満員になり次第締切とさせて頂きます。■**募集締切：2018年4月30日（月曜日）までに必着**※お問い合わせ後、詳細を記載いただく申込書を送付。FAX、メールにてお申し込み下さい。※東京・成田／大阪・関西以外からご出発を希望される方は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み
コーディネーター：王 青 TEL.090-2069-6791 Mail：wqbizp@hotmail.com
株式会社ハーティ：足立洋史 TEL.03-3866-0230 Mail：adachi@heartyjp.co.jp

株式会社ハーティ 東京都知事登録旅行業第3-3628号 〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-33-6-705 TEL.03-3866-0230 FAX.03-3866-7199 総合旅行業務取扱管理者：高見沢章弘

視察ツアーにご参加希望の方は、メール等にて弊社宛にご送信下さい。当社所定の申込書（渡航手続き伺い書）をお送りいたします。

■コーディネーター：日中福祉プランニング 王 青 ■企画／主催：(株)高齢者住宅新聞社 協力：医療法人社団悠翔会

日時	月日（曜）	地名	時間	交通機関	行程	食事
1	6月14日（木）	成田発 上海（浦東）着	08:55 11:30	CA158 専用バス	中国国際航空158便にて中国・上海（浦東）へ	昼:機内食 夕：○
		関空発 上海（浦東）着	09:05 10:30	CA164 専用バス	中国国際航空164便にて中国・上海（浦東）へ 到着通関後、合流し専用バスにて業界視察へ ①「China Aid2018」到着通関後、合流し専用バスにて業界視察へ ②「医療機関」見学	
		上海発 南京着		高鐵	夕方:高鐵（中国新幹線）にて南京へ 夜:チェックイン後、ツアー参加者の懇親会を兼ねて夕食会 〈南京市内泊〉	
2	6月15日（金）	南京滞在		専用バス	午前:③「南京市内デイ」視察 ④「南京市内介護専門教育機関」視察 午後:⑤「介護事業に参入のデベロッパー会社」視察 ⑥「民間介護施設」視察 〈南京市内泊〉	朝：○ 昼：× 夕：×
3	6月16日（土）	南京発 上海着		高鐵 専用バス	午前:南京市内散策（中山陵、中華門城堡など） 高鐵（中国新幹線）にて上海へ、到着後、ホテルへ （時間があれば、上海地域に密着施設見学） 夜:夕食後、OP希望者のみナイトクルーズ 夜景を鑑賞 〈上海市内泊〉	朝：○ 昼：× 夕：×
4	6月17日（日）	上海滞在		専用バス	朝:「上海市内の公園」視察 （高齢者の野外レクレーション活動） 午前:⑦「上海官民共同介護人材育成大学」視察・交流 午後:⑧「上海市内CCRC」視察 夜:夕食後、OP希望者のみ上海雑技団を鑑賞 〈上海市内泊〉	朝：○ 昼：× 夕：×
5	6月18日（月）	上海（浦東）発 成田着	17:20 21:00	CA157	午前:⑨「上海市地域医療（ホームドクター）」視察 午後:上海市内散策（新天地、豫円など） 中国国際航空157便にて帰国の途へ（成田へ） 到着通関後、解散	朝：○ 昼：× 夕:機内食
		上海（浦東）発 関空着	17:30 20:30	CA163	中国国際航空163便にて帰国の途へ（関西へ） 到着通関後、解散	

※視察先や訪問先は、先方の都合により変更になる場合がございます。予めご了承下さいます様お願い申し上げます。
※この行程は、2018年2月10日現在の運航予定スケジュールを基準としております。